

1950年後半に登場した際にはしっかりアバンギャルドであり、しかしそれが現在まで長く“愛されて”いる。発想時は製造も維持も経済的にするために小さくするがファンクシヨナリティを満たすためのデザインであったのに、60年以上経た今でも誰が見ても愛らしく思わず頬が緩んでしまうルックスであるうえに、それほど古くは見えなところが素晴らしい。(森川オサム／モータリングジャーナリスト)

デザインの審美的な評価は好みがあり難しいのだけど、デザインを「スタイル」と言い換えるなら、歴史的に意義、意味のあるスタイルと思えるのはミニです。ミニマムなサイズでありながら、クルマとして求められる機能を満たし、しかも万人に「好まれ」「愛され」る普遍性のある造形にまとめているから。(河西啓介／モータリングジャーナリスト、編集者)

に知ってしまった。は

だと思います。(鈴

クラシックMIN
会ったことがあります
るにはちょっと……
は世界中で聞いた
からは、エクステリ
していますが、ヒッ
確実に人気を得て
モータリングジャー

悔しいけれど現代
いう現実を突きつけ
デザインという言葉の
含むなら、後世に影響
を筆頭に挙げざるを
があったが、オーバー
ニの足元にも及ばな
株式会社カーグラフィ

